

持経宿小屋の台所改修工事と水場からの導水ホース回収など

◇実施日 5月28日(土)、29日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、梶野照雄、橋本梓、脇地真理、尾中伸彰 6名

この日山彦が計画した行事は無かったので、中前君が尾鷲市九鬼町の頂山とオハイを巡る山行を企画し、山彦メンバーの大半が参加することになっていった。

4〜5日前に児嶋さんから「大型連休中に2泊して持経宿小屋の台所改修を行ったが、完成に至らなかったので28〜29日に最終の工事を行う」と連絡があった。

台所改修には持ち込んだ食器棚の移動など一人では困難な作業もあり沖崎が同行することになった。また梶野君も尾鷲の山行後に持経宿に向かうと申し出があった。

橋本さんからも「持経宿周辺を歩きたいので、岳友二人と同乗させてほしい」と乞われ、計6人で持経宿に宿泊することになった。

28日の午前9時、池原で合流し池郷林道経由で持経宿に向かう。2〜3回車を降りて落石を取り除いたが、通してみると大きな荒れは無く、一時間かからずに持経宿に着いた。

各自の荷物、持ってきた薪材や児嶋さんの道具類を降ろし作業準備を整えた。

橋本、尾中、脇地の3名は転法輪岳まで行ってくる、と小屋を後

にした。さあ工事のスタートだ。台所のスペースが狭く一人が作業するのがやっとなので、積極的に手伝うこともできず、沖崎は小屋内外の整理・清掃を行う。昼食もそこそこに、児嶋さんはゆつくりと休憩する事も無く黙々と仕事を続ける。

午後3時前にたな請けが完成したので、お堂にデポしていた食器棚を二人で運びだして台所に据え付けた。

これで完成か？と聞いたなら「棚下など下部の細かい造作が残っているので、完成はまだ先だ」と返事があった。

私は児嶋さんの作業が続く間にお堂の内外や玄関横の倉庫、トイレ奥の物置から不用品を探して持ち帰るように一ヶ所にまとめた。いつかはやらねば、と気になっていた事がスッキリした。



宴たけなわ



児嶋さんは就寝



全員で

転法輪岳へ出かけた3名も戻ってきた。吉野を午前1時に出て、ここまで15〜16時間かけてやってきた西沢君(島田市50歳)も加わり夕食(宴会)を始めた。児嶋さんがタマネギやニンニクを

刻みフライパンで肉を炒めた料理を作ってくれる。

皆さん持参の刺身や新鮮野菜が並び、山小屋とは思えない豪華な食卓だ。乾杯して宴が始まった。暫くして若者が一人到着、浜松市の横井君（42歳）で、本宮からここまで走ってきたそうだ。更に順峯で歩いてこられた佐藤康洋さん（横浜市60歳）が加わり8名で盛り上がった。

薄暗くなった午後7時過ぎ、梶野君も到着し総勢9名での賑やかなひと時が過ぎていった。

児嶋さんは午後8時前に横になり、順峯、逆峯の縦走者が早朝発の事もあり8時過ぎにお開きにした。沖崎はお堂に移動し、初めて堂守を体験した。



午前4時半

水場を確認

朝早くから工事

翌朝午前5時過ぎに起きて小屋に行くと思えない豪華な食卓で姿は無かった。児嶋さんはもう大工仕事を始めていた。橋本、尾中、脇地の3人は天狗の稽古場付近までピストンする、と

6時半過ぎに出かけて行った。

残った3人も午前7時頃から朝食を摂る。児嶋さんが目玉焼きと野菜サラダを作ってくれる。喫茶店のモーニングサービス風だ。



ほぼ出来上がった

回収したホース

階段を新設

台所の改修工事も佳境に入り、下部の隙間塞ぎは現物合わせが続く。切ったり削ったりで手間がかかっている。

流しの上にはポリタンクを置く台が作られ、使い勝手も格段に良くなっている。11時頃にやっと仕上がった。

児嶋さんの大工仕事の間に梶野君は水場から引かれている導水ホースの撤去を行った。谷を渡っている場所は大きく高捲きしたり、木に食い込まれているホースを切断したりで、苦労したようだ。

ちようどお昼ごろにまとめたホースを引きずりながら小屋に戻ってきた。昼食は残ったパンやおにぎりで済ませ、午後1時過ぎに児嶋さんが先に下山した。後片付けもほぼ終え、天狗の稽古場に行った3人の帰りを待つ。

3人に持って行ってもらった無線機から、午後2時頃に持経宿に戻る、と連絡がありまだ時間があるので持経宿小屋すぐ北側の奥駈道段差の改修を始めた。以前は3段の段差が作られていたが、腐り等で用を成していない状態だった。新しく杭を打ち、障害になつていた古い根を切つて5段の階段を作った。

行動タイム

28日：09：00 スポーツ公園↓10：10 持経宿↓20：20 就寝
29日：04：30 起床↓14：20 下山↓14：45 池郷林道ゲート



3人が帰る

持経宿を離れる

林道ゲート着

午後2時少し前、予定通りに3人が帰ってきた。ロングコースのピストンで、橋本さんはちよつとお疲れ気味だった。

今回、児嶋さんは合計5日間持経宿に滞在され台所の改修をされた。結果は見違えるほどきれいになったし、使い勝手もよくなった。作業中は殆ど休憩せず黙々と手を動かし続ける。食事の時もその場で料理を作ることが主で、そのマメさに頭が下がる。便乗して小屋、お堂の内外もきれいに出来た。不用品も多数廃棄することが出来た。充実の2日間だった。児嶋さん、梶野君、ありがとう。

(記：沖崎)